

水桜通信

(TM 担当)

令和8年6月15日(月)

TM 担当

〇7年 美術 今井先生『茶色づくり』



自分だけの“茶色”をつくる!

～三原色を使って、ねらい通りの茶色をつくり出す授業～

描きたいものに
“ぴったり”の茶色を
自分でつくる!



授業の目的

三原色を用いて茶色をつくり、表したいイメージに合う色を自分でつくり出す力を育てる。

先生のねらい・目標

- ・ねらい通りの茶色をつくること
- ・自分で茶色のものを描くこと

目指す子どもの姿

色を比べ、試し、工夫しながら、自分のイメージに合う色をつくり出せる子

どの子も、もくもくと自分のイメージする茶色をつくらっていた



たくさんの
茶色が
生まれた!



授業の流れ

① 課題の確認 茶色づくりをしよう!



② ふでの色と画面の色を比べ
画面の色に近づけるにはどうしたらいいかな?



③ 三原色を使って茶色をつくる
試しながら、ねらい通りの茶色をつくる!



④ 自分で茶色のものを描く
つくった色を使って、自分の表したいものを描こう!



この授業の良さ・成果



主体的な学び

自分の表したいイメージに向かって、試行錯誤しながら色をつくることで、主体的に取り組む姿が見られた。



色の感覚を育てる

画面の色とふでの色を比べる活動を通して、色の違いや混ぜ方による変化に気づき、色の感覚が豊かになった。



表現につなげる力

ねらい通りの色がつくれるようになることで、自信をもって自分の表したいものを描くことができた。



先生からみて…

子どもたちが、自分の手で“ぴったり”の茶色をつくり出す姿に、色の面白さや表すことの楽しさを感じているのが伝わりました。色づくりが、表現の幅を広げる大きな力になったと思います!



色をつくることは、表すことの第一歩!



子どもたちの感性と表現力を育てる、価値ある授業でした!

